

## 平成29年度 事前評価実施地区一覧表

近畿中国森林管理局

(1) 国有林直轄治山事業

整理 番号	都道 府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益 B	総費用 C	分析結果 B/C	チェックリスト																				
									I 必須事項					II 優先配慮事項															
									1	2	3	4	5	1 有効性			2 効率性	3 事業の実施環境等											
														(1)	(2)	(3)		(4)					(5)						
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③																	
1	石川	石川森林管理署	水源地域整備事業	中の川	ナカノカワ	360,798	270,343	1.33	○	○	○	○	○	B	A	B	B	A	-	-	-	-	A	A	-	A	B	C	
2	福井	福井森林管理署	保安林整備事業	熊河谷下流外1	クマノコウタニカリユウ	72,965	13,069	5.58	○	○	○	○	○	A	A	B	B	B	B	A	A	C	-	B	-	A	A	C	
3	福井	福井森林管理署	保安林整備事業	一ツ谷川上流外2	ヒトツタニカワジョウリュウ	22,885	5,380	4.34	○	○	○	○	○	A	B	B	A	B	A	A	A	A	B	A	-	B	-	C	
4	三重	三重森林管理署	保安林整備事業	白山川	ハクサンガワ	66,523	10,993	6.05	○	○	○	○	○	A	A	B	B	B	A	A	A	A	C	A	-	B	-	C	
5	三重	三重森林管理署	保安林整備事業	有馬 外1	アリマ	72,424	10,993	6.57	○	○	○	○	○	B	-	B	B	B	-	A	A	B	-	-	B	A	B	C	
6	三重	三重森林管理署	保安林整備事業	黒曾川	クロソガワ	42,750	9,743	4.39	○	○	○	○	○	B	A	B	B	B	A	A	A	B	C	A	-	C	-	C	
7	滋賀	滋賀森林管理署	復旧治山事業	追分西谷	オイワケニシダニ	371,197	9,615	38.61	○	○	○	○	○	B	-	A	B	B	B	B	A	A	A	C	-	A	-	C	
8	京都	京都大阪森林管理事務所	復旧治山事業	桃山	モモヤマ	54,692	24,038	2.28	○	○	○	○	○	B	-	B	B	A	A	-	A	A	-	-	-	A	-	C	
9	京都	京都大阪森林管理事務所	共生保安林整備事業	嵐山	アラシヤマ	535,068	224,987	2.38	○	○	○	○	○	A	-	A	B	A	A	B	A	B	A	-	-	A	-	C	
10	和歌山	和歌山森林管理署	復旧治山事業	御殿川支流	ゴテンガワシリュウ	407,605	87,200	4.67	○	○	○	○	○	A	A	A	A	A	A	B	A	B	B	A	B	A	A	A	
11	和歌山	和歌山森林管理署	保安林整備事業	黒蔵谷	クロゾウタニ	49,989	4,070	12.28	○	○	○	○	○	B	B	B	A	A	A	A	A	C	B	B	C	B	A	A	B
12	和歌山	和歌山森林管理署	保安林整備事業	法師谷	ハウシタニ	193,766	10,993	17.63	○	○	○	○	○	B	B	B	A	A	A	A	A	B	B	C	B	A	A	B	
13	鳥取	鳥取森林管理署	復旧治山事業	佐陀川上流	サダガワジョウリュウ	1,748,355	53,512	32.67	○	○	○	○	○	A	-	A	A	A	A	-	A	A	A	A	-	-	B	-	C
14	島根	島根森林管理署	保安林整備事業	小里川 外1	コザトガワ	21,607	3,685	5.86	○	○	○	○	○	A	B	B	B	B	B	A	A	B	C	C	B	C	-	C	
15	島根	島根森林管理署	保安林整備事業	イザナミ1032	イザナミ	100,211	12,819	7.82	○	○	○	○	○	A	B	B	B	B	B	A	A	B	C	C	B	C	-	C	
16	岡山	岡山森林管理署	復旧治山事業	堂ヶ谷	ドウガタニ	133,713	27,783	4.81	○	○	○	○	○	A	B	B	A	B	A	B	A	A	C	B	-	B	-	C	
17	岡山	岡山森林管理署	保安林整備事業	水無山	ミズナシヤマ	9,745	2,435	4.00	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	A	A	B	C	A	B	B	A	C	
18	広島	広島北部森林管理署	保安林整備事業	指谷山上流	ユビタニヤマジョウリュウ	95,760	13,877	6.90	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	A	A	B	C	B	B	B	A	C	
19	奈良	奈良森林管理事務所	復旧治山事業	北股	キタマタ	198,318	110,177	1.80	○	○	○	○	○	B	B	B	A	B	B	A	B	B	C	B	B	A	-	C	

## 事前評価個表

事業名	水源地域整備	事業計画期間	平成29年度～平成33年度
事業実施地区名 (都道府県名)	なかのかわ 中ノ川 (石川県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 石川森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、霊峰白山（標高 2,702m）を源とする一級河川 手取川の支流である尾添川の源流部に位置する大汝国有林に所在する。</p> <p>当該地では、平成27年5月上旬に融雪のため崩壊面積 約11.00ha 推定崩壊土砂量 約130万m<sup>3</sup>に及ぶ山腹崩壊が発生。崩壊土砂は、火山性由来のため粒子が非常に細かく直下に流れる中ノ川の流水に溶け込み約60km下流の手取川河口まで達し最大濁度4,000度(カオリン)もの高レベルの濁りを発生させた。</p> <p>その結果、農業用水への土砂堆積・漁獲高の減少を招くなど下流域で利水している1次産業を中心にわたり影響を与えた。</p> <p>これを受け、平成27年7月より緊急対策としてヘリコプターによる対策を実施してきているところであるが、急峻な地形で土質が非常に脆く、土砂の流出が続いている状況である。</p> <p>このため、計画的な施工を実施し、農林水産業従事者の不安を解消する必要があることから、航空緑化導入工等を実施することとする。</p> <p>なお石川県議会及び地元自治体の白山市はじめとする5市1町連名による手取川濁水解消に向けた要望書が提出されている。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容      航空緑化導入工</li> <li>・ 主な保全対象      水力発電取水施設</li> <li>・ 総事業費</li> </ul>	300,000	(千円)
費用対効果分析	総 便 益 (B)	360,798	(千円)
	総 費 用 (C)	270,343	(千円)
	分析結果 (B/C)	1.33	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：水源かん養機能の維持増進により、水資源を確保するため必要である。</li> <li>・ 効率性：事業の経済性・効率性が確保されている。</li> <li>・ 有効性：費用対効果の分析結果のとおり有効と認められる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：中の川

都道府県名：石川県  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
山地保全便益	土砂流出防止便益	317,705	
	土砂崩壊防止便益	43,093	
総 便 益 (B)		360,798	
総 費 用 (C)		270,343	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{360,798}{270,343} = 1.33$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	くまのこうたにかりゅう 熊河谷下流 外1 福井県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区の所在する熊河・温見国有林は福井県大野市に位置し、九頭竜川の上流、熊河川・温見川の最上流部にある。</p> <p>当該箇所は、植栽した人工林が過密となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱で、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。</p> <p>また、当該計画箇所周辺は、熊剥ぎや鹿等による樹皮剥離被害等の獣害による被害が多く発生している。</p> <p>このことから、上層木の本数を調整し下層植生の健全な生育空間と光環境を確保するため本数調整伐を実施するとともに、植栽木又は下層植生等の健全な生育を阻害する獣害の物理的防護として獣害対策テープ巻きを行い、獣類の踏み荒らしによる土層の破壊や移動を防ぐため丸太筋工を施工し、森林の持つ水源涵養、山地災害抑止機能等を高めることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：本数調整伐、獣害対策テープ巻き 丸太筋工、歩道修理</li> <li>・主な保全対象：林道</li> <li>・総事業費 13,160（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	72,965	（千円）
	総 費 用（C）	13,069	（千円）
	分析結果（B/C）	5.58	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：水源涵養及び山地災害抑止のため必要</li> <li>・効率性：保安林内の劣悪林分を事業地とし、同時に獣害対策テープ巻きや丸太筋工を計画し、水源涵養機能の充実と山地災害防止の効果を高めるように計画している。</li> <li>・有効性：本数調整伐により生育及び光環境を確保し植栽木の健全化を図ることができる一方、獣害対策テープ巻きや丸太筋工による対策も計画している。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：保安林整備  
施行箇所：熊河谷下流外1

都道府県名：福井  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	22,740	
	水質浄化便益	50,225	
総 便 益 (B)		72,965	
総 費 用 (C)		13,069	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{72,965}{13,069} = 5.58$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ひとつたにかわじょうりゅう 一ツ谷川上流 外2 福井県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区の所在する一ツ谷国有林外2は福井県大飯郡おおい町に位置し、一ツ谷川の上流にある。</p> <p>当該箇所は、植栽した人工林が過密となっており、被圧され立ち枯れる植栽木があり下層植生も貧弱で、台風や集中豪雨等による災害が危惧される状況にある。</p> <p>また、当該計画箇所周辺は、熊剥ぎや鹿等による樹皮剥離被害等の獣害による被害が多く発生している。</p> <p>このことから、上層木の本数を調整し下層植生の健全な生育空間と光環境を確保するため本数調整伐を実施するとともに、植栽木又は下層植生等の健全な生育を阻害する獣害の物理的防護として獣害対策テープ巻きを行い、獣類の踏み荒らしによる土層の破壊や移動を防ぐため丸太筋工を施工し、森林の持つ水源涵養、山地災害抑止機能等を高めることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：本数調整伐、獣害対策テープ巻き 歩道修理</li> <li>・主な保全対象：林道</li> <li>・総事業費 9,500（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	41,478（千円）	
	総 費 用（C）	9,550（千円）	
	分析結果（B/C）	4.34	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：水源涵養及び山地災害抑止のため必要</li> <li>・効率性：保安林内の劣悪林分を事業地とし、同時に獣害対策テープ巻きや丸太筋工を計画し、水源涵養機能の充実と山地災害防止の効果を高めよう計画している。</li> <li>・有効性：本数調整伐により生育及び光環境を確保し植栽木の健全化を図ることができる一方、獣害対策テープ巻きや丸太筋工による対策もしている。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：保安林整備  
施行箇所：一ツ谷川上流 外2

都道府県名：福井  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	13,266	
	水質浄化便益	28,212	
総 便 益 (B)		41,478	
総 費 用 (C)		9,550	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{41,478}{9,550} = 4.34$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	はくさんがわ 白山川 三重県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は三重県津市美杉町の深谷国有林で、過去に台風による豪雨に伴って山腹崩壊が発生し、下流に被害を及ぼした周辺森林である。</p> <p>現状、計画箇所においては下層植生が衰退し、表土流出が見られているところである。</p> <p>このことから、崩壊地周囲の本数調整伐に併せて丸太筋工を設置することで林地の保全及び林床植生の回復を図り、土砂流出の軽減を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 本数調整伐28.97ha及び筋工400m</li> <li>・ 主な保全対象 人家、県（国）道及び神社</li> <li>・ 総事業費 11,000（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	66,523（千円）	
	総 費 用（C）	10,993（千円）	
	分析結果（B/C）	6.05	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：当地区の状況から、放置すれば林地荒廃による土砂流出が発生するおそれが高い。 水土保全機能の発揮による下流域への保全等、事業実施の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：事業の実施により、保安林機能の強化が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれ、事業の有効性が認められる。</li> </ul>		



便 益 集 計 表  
(治山事業)事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：白山川都道府県名：三重  
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	20,286	
	水質浄化便益	46,237	
総 便 益 (B)		66,523	
総 費 用 (C)		10,993	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{66,523}{10,993} = 6.05$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ありま 有馬 外1 三重県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所が位置する七里御浜は熊野市から紀宝町にかけて熊野灘に面した海岸で、吉野熊野国立公園及び熊野古道伊勢路の一部でもある。</p> <p>計画箇所については、クロマツを主体とした防風保安林であるが、松枯れ等により、未立木地化した箇所へ、広葉樹が侵入し林内環境が悪化したことで、防風等海岸防災林の機能低下が懸念される状況となっている。</p> <p>このため、適切な密度とするための広葉樹を対象とした除伐を実施し、海岸防災林の健全化を図ることとする。</p> <p>なお、地元住民等からも当該海岸防災林の機能の向上について要望が寄せられているところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 除伐</li> <li>・主な保全対象： 人家、県（国）道及び鉄道</li> <li>・総事業費 11,000（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	72,242（千円）	
	総 費 用（C）	10,993（千円）	
	分析結果（B/C）	6.57	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：当地区の状況から、放置すれば林地荒廃による土砂流出が発生するおそれが高い。 水土保全機能の発揮による下流域への保全等、事業実施の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</li> <li>・有効性：事業の実施により、保安林機能の強化が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれ、事業の有効性が認められる。</li> </ul>		

便 益 集 計 表  
(治山事業)事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：有馬 外1都道府県名：三重  
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
環境保全便益	風害軽減便益	72,242	
総 便 益 (B)		72,242	
総 費 用 (C)		10,993	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{72,242}{10,993} = 6.57$	

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	くろそがわ 黒曾川 三重県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、安濃川上流に位置する三重県津市芸濃町の赤坂国有林で、下流には安濃ダムも存在する箇所である。</p> <p>現状、当該計画箇所は、樹幹密度が低下し、下層植生が衰退しており、表土流出の恐れがある状況である。</p> <p>また、計画箇所近隣における山地において、台風等の被害による土砂崩壊が発生していることも踏まえ、森林の機能向上を図る必要がある状況である。</p> <p>このため、本数調整伐の実施に併せて丸太筋工を行うことで林地の保全、林床植生の回復を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 本数調整伐24.96ha及び筋工300m</li> <li>・主な保全対象 県(国)道</li> <li>・総事業費 9,700（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 42,750（千円）</p> <p>総 費 用 (C) 9,743（千円）</p> <p>分析結果 (B/C) 4.39</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：当地区の状況から、放置すれば林地荒廃による土砂流出が発生するおそれが高い。 水土保全機能の発揮による下流域への保全等、事業実施の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</li> <li>・有効性：事業の実施により、保安林機能の強化が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれ、事業の有効性が認められる。</li> </ul>		

## 便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
 施行箇所：黒管川

都道府県名：三重  
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	13,036	
	水質浄化便益	29,714	
総 便 益 (B)		42,750	
総 費 用 (C)		9,743	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{42,750}{9,743} = 4.39$		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おいわけにしだに 追分西谷 滋賀県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、大津市の西側に位置する追分国有林で、平成25年9月の台風による集中豪雨で被災した箇所である。</p> <p>これを受けた緊急復旧工事については平成26年度に完成したが、その後も豪雨の際には、保全対象であるマンションの敷地へ土砂流出が発生する状況にある。</p> <p>このため、計画箇所において、山腹工を施工するとともに流末処理を実施して保全対象への土砂流出の抑制を図ることとする。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 山腹工</li> <li>・ 主な保全対象： 人家（マンション）</li> <li>・ 総事業費</li> </ul>	10,000（千円）	
費用対効果分析	総 便 益（B）	371,197（千円）	
	総 費 用（C）	9,615（千円）	
	分析結果（B/C）	38.61	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：現に下流域の人家に土砂流出の被害を及ぼしており、必要性は高い。</li> <li>・ 効率性：直接植生マットを施工して早期緑化を促すものであり効率性が高い。</li> <li>・ 有効性：早期緑化することで土砂の流出を防止できるため、有効性は非常に高い。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：復旧治山事業  
施行箇所：追分西谷

都道府県名：滋賀  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	371,197	
総 便 益 (B)		371,197	
総 費 用 (C)		9,615	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{371,197}{9,615} = 38.61$		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ももやま 桃山 京都府	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、京都市の南部に位置する桃山国有林で、周辺を住宅街や病院などと隣接している小規模の国有林である。</p> <p>平成27年度まで治山施設を整備していたが、平成28年9月の局地的集中豪雨の影響により山腹斜面の一部が崩壊し、直下にある寺院の墓地へ土砂が流出し、墓石の埋没・損傷被害を与えた。</p> <p>このまま放置すれば、崩壊地の拡大により上部にある治山施設にも損害を与え、さらなる土砂流出の危険がある。</p> <p>このため、早期に山腹工を施工し、山腹崩壊斜面の安定・土砂流出被害防止を図ることとする。</p> <p>なお、流出土砂により被害を受けた寺院や地元住民から早期復旧の要望が寄せられている。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 土留工1基、丸太筋工、植生マット伏工</li> <li>・ 主な保全対象： 寺院(墓地)</li> <li>・ 総事業費 25,000(千円)</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	54,692(千円)	
	総 費 用 (C)	24,038(千円)	
	分析結果 (B/C)	2.28	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 今後の豪雨等により拡大崩壊の危険性があり、直下に位置する寺院(墓地等)へ被害を及ぼす恐れがある。 保安林機能(土砂崩壊防備)の発揮による流域保全等、当事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析結果から、十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、山腹斜面の安定及び林床植生の回復が図られ、保安林機能(土砂崩壊防備)の維持向上が見込まれることから有効性は認められる。</li> </ul>		



様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：桃山

都道府県名：京都  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	54,692	
総 便 益 (B)		54,692	
総 費 用 (C)		24,038	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{54,692}{24,038} = 2.28$		

## 事前評価個表

事業名	共生保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度～平成38年度
事業実施地区名 (都道府県名)	あらしやま 嵐山 京都府	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、京都市西京区に位置する嵐山国有林内を対象とした地区である。当地区は、世界的に有名な景勝地で世界文化遺産である天龍寺の借景にもなっており、年間を通じて多くの観光客が訪れる観光の名所で、地元からの関心が非常に高い地域である。</p> <p>嵐山国有林では、これまで継続的な治山事業を実施しているが、急傾斜地で、かつ、下層植生の衰退等により表土の流出が激しく、また林内には転石等も多く存在しており、降雨等により落石や小規模崩壊が頻繁に発生しており、このまま放置すれば、観光客等への人的被害の発生等も懸念される状況である。</p> <p>このことから、落石対策としてアンカーなどによる土石の固定、既存治山施設の補修、群状択伐工等による下層植生の成長促進等を図り、保安林機能の維持向上を図ることとする。</p> <p>なお、嵐山地区は、地元関係者や有識者などと毎年意見交換会を実施しており、治山事業の実施について強い要望がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 群状択伐 落石防護網工 既設工作物の補修など</li> <li>・主な保全対象：市道 観光施設等</li> <li>・総事業費 278,596 (千円)</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	535,068 (千円)	
	総 費 用 (C)	224,987 (千円)	
	分析結果 (B/C)	2.38	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 今後の降雨等により落石及び表土流出被害等の危険性があり直下に位置する市道(多数の観光客が往来)へ被害を及ぼす恐れがある。 保安林機能(土砂流出防備)の発揮による流域保全等、当事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析結果から、十分な効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、山腹斜面の安定及び林床植生の回復が図られ、保安林機能(土砂流出防備)の維持向上が見込まれることから有効性は認められる。</li> </ul>		

様式1

## 便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業

都道府県名：京都

施行箇所：嵐山

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	6,755	
	流域貯水便益	1,498	
	水質浄化便益	3,606	
災害防止便益	山地災害防止便益	523,209	(被害想定計算額 523,209) 適用
総 便 益 (B)		535,068	
総 費 用 (C)		224,987	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{535,068}{224,987} = 2.38$		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成29～32年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ごてんかわしりゅう 御殿川支流 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、和歌山県伊都郡高野町の有田川上流に位置する高野山国有林内の地区を対象としている。計画地の約1km下流には、県道371号線（高野龍神スカイライン）が南北に縦断して国有林との境界沿いにあり、地元住民及び世界遺産である高野山への観光客等が利用する重要な道路となっている。</p> <p>当該地区では、表層崩壊が数多く確認されるとともに溪岸侵食も発生しており、溪流には表層崩壊により土砂とともに発生した流木が堆積しており、流木の腐朽とともに溪流内に堆積している不安定土砂が下流へ流出する危険性が高くなっている。</p> <p>加えて、県道371号線付近には高野町の上下水道に係る取水施設があり、取水施設への土砂流入を未然に防止する必要があるところ。</p> <p>このため、溪間工、山腹工の実施を通じて、土砂流出の抑制を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 溪間工、山腹工</li> <li>・主な保全対象：県道、林道、取水施設</li> <li>・総事業費 95,000（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	407,605（千円）	
	総 費 用（C）	87,200（千円）	
	分析結果（B/C）	4.67	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊を放置すれば、今後の豪雨等により荒廃が拡大し土砂の流出が発生する恐れが非常に高い。水土保持機能の発揮による流域の保全等、当事者の実施の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が認められ、水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</li> <li>・有効性：費用対効果分析の結果から、有効性が認められる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：御殿川支流

都道府県名：和歌山  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	25,495	
	流域貯水便益	10,733	
山地保全便益	土砂流出防止便益	371,338	
	土砂崩壊防止便益	39	
総 便 益 (B)		407,605	
総 費 用 (C)		87,200	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{407,605}{87,200} = 4.67$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	くろぞうだに 黒蔵谷 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、和歌山県田辺市本宮町の熊野川上流に位置する黒蔵谷国有林内の地区を対象としており、下流域への重要な水源地となっている。</p> <p>当該地区では、樹冠が鬱閉し下層植生が衰退しているため、降雨等により表土が流出し、水源かん養の保安林機能が損なわれているうえ、今後の豪雨により山腹崩壊の発生が懸念される状況にある。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し、林内の照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源かん養及び土砂流出防備の保安林機能の高度発揮を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 本数調整伐、丸太筋工</li> <li>・ 主な保全対象：林道</li> <li>・ 総事業費 3, 800（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	49, 989（千円）	
	総 費 用（C）	4, 070（千円）	
	分析結果（B/C）	12.28	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 保安林機能の低下を放置すれば、今後の豪雨等により荒廃が拡大し、土砂の流出が発生する可能性が非常に高い。よって、水土保持機能の発揮による下流域の安定等、当事業の実施の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 事業の実施により保安林機能の強化が図られ、国土保全機能の発揮が見込まれることから、山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</li> <li>・ 有効性： 費用対効果の分析結果から、有効性が認められる。整備を通じて、下流域等への被害の防止効果発揮が図られることから有効と認められる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：黒蔵谷

都道府県名：和歌山  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	12,345	
	水質浄化便益	37,644	
総 便 益 (B)		49,989	
総 費 用 (C)		4,070	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{49,989}{4,070} = 12.28$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ほうしたに 法師谷 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、和歌山県田辺市大塔村の日置川上流に位置する前の川国有林内の地区を対象としており、下流域への重要な水源地となっている。</p> <p>当該地区では、樹冠が鬱閉し下層植生が衰退しているため、降雨等により表土が流出し、水源かん養の保安林機能が損なわれているうえ、今後の豪雨により山腹崩壊の発生が懸念される。</p> <p>このため、本数調整伐を実施し、林内の照度を確保することにより、下層植生の生長を促進し、水源かん養及び土砂流出防備の保安林機能の高度発揮を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 本数調整伐、丸太筋工</li> <li>・ 主な保全対象：林道</li> <li>・ 総事業費 11,000（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	193,766（千円）	
	総 費 用（C）	10,993（千円）	
	分析結果（B/C）	17.63	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 保安林機能の低下を放置すれば、今後の豪雨等により荒廃が拡大し、土砂の流出が発生する可能性が非常に高い。よって、水土保持機能の発揮による下流域の安定等、当事業の実施の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 事業の実施により保安林機能の強化が図られ、国土保全機能の発揮が見込まれることから、山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</li> <li>・ 有効性： 費用対効果の分析結果から、有効性が認められる。整備を通じて、下流域等への被害の防止効果が発揮されることから有効と認められる。</li> </ul>		



様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：法師谷

都道府県名：和歌山  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	47,840	
	水質浄化便益	145,926	
総 便 益 (B)		193,766	
総 費 用 (C)		10,993	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{193,766}{10,993}$		= 17.63

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	さだがわじょうりゅう 佐陀川上流 鳥取県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、二級河川 佐陀川上流部に位置する大山国有林に位置する。 当該箇所は、平成11年度に施工した元谷第29号堰堤の下流側が度重なる集中豪雨等により、基礎部が侵食を受けている箇所、上流側の斜面地形も急峻で、斜面の崩壊が多数みられる。 このまま放置すれば、今後の集中豪雨により基礎部の侵食が拡大し、既設治山施設が被災し土石流が発生する恐れがあり、その場合、下流の橋梁や大山寺地区の寺社、旅館等にも影響を及ぼす恐れが懸念される。 このため、既設治山施設下流に床固工と側壁工を施工し、溪床の安定を図ることとする。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：床固工1基</p> <p>・主な保全対象 橋梁、寺社、旅館等</p> <p>・総事業費 55,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	1,748,355（千円）	
	総 費 用（C）	53,512（千円）	
	分析結果（B／C）	32.67	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<p>・必要性：基礎部の侵食箇所を放置すれば、今後さらに侵食が拡大する恐れが非常に高く。保安林機能の発揮による下流域の保全等事業実施に必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。</p> <p>・有効性：事業に実施により、侵食箇所の復旧、溪流荒廃抑止が図られ機能の発揮が見込まれる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：佐陀川上流

都道府県名：鳥取  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	767	
	流域貯水便益	274	
災害防止便益	山地災害防止便益	1,747,314	
総 便 益 (B)		1,748,355	
総 費 用 (C)		53,512	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{1,748,355}{53,512} = 32.67$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	こごとがわ 小里川 外1 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、浜田市金城町の雲月国有林に位置し、国道、人家が近接する地域である。</p> <p>現状では、立木が過密状態となっているため、下層植生の衰退が進行しており、表土が流出する危険性がある。</p> <p>今後、集中豪雨等があれば、流出した土砂が下流の保全対象でもある県道や集落等に影響を及ぼすおそれがあることから、早急に対策が必要である。</p> <p>このため、本事業により過密状態となった林分の本数調整伐を行い、下層植生を繁茂させ、表土流出を防ぎ下流の保全を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 本数調整伐、丸太筋工、歩道新設 歩道修理</li> <li>・ 主な保全対象：人家、県道、田畑</li> <li>・ 総事業費 3, 400（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	21, 607（千円）	
	総 費 用（C）	3, 685（千円）	
	分析結果（B/C）	5.86	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性がある。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：事業の実施により、下層植生が繁茂し、水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：小里川 外1

都道府県名：島根  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	6,859	
	水質浄化便益	14,748	
総 便 益 (B)		21,607	
総 費 用 (C)		3,685	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{21,607}{3,685} = 5.86$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いざなみ イザナミ1032 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、仁多郡奥出雲町のイザナミ国有林に位置し、人家、町道等が下流に存在する箇所である。</p> <p>現状では、立木が過密状態となっているため、下層植生の衰退が進行しており、表土が流出する危険性がある。</p> <p>今後、集中豪雨等があれば、流出した土砂が下流の保全対象でもある県道や集落等に影響を及ぼすおそれがあることから、早急に対策が必要である。</p> <p>このため、本事業により過密状態となった林分の本数調整伐を行い、下層植生を繁茂させ、表土流出を防ぎ下流の保全を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 本数調整伐 53.82ha、丸太筋工 300m、歩道修理 3000m</li> <li>・ 主な保全対象：人家、町道、田畑</li> <li>・ 総事業費 12,900（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益（B）	100,211（千円）	
	総費用（C）	12,819（千円）	
	分析結果（B/C）	7.82	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：過密林分を放置すれば、今後の豪雨等により土砂流出の危険性がある。水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：事業の実施により、下層植生が繁茂し、水土保全機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：イザナミ1032

都道府県名：島根  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	31,780	
	水質浄化便益	68,431	
総 便 益 (B)		100,211	
総 費 用 (C)		12,819	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{100,211}{12,819} = 7.82$		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成 29～31 年度
事業実施地区名 (都道府県名)	どうがたに 堂ヶ谷 岡山県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、旭川と支流宇甘川の合流する岡山県岡山市北区に位置する城山国有林を含む地区で、下流御津地区の重要な水源地域である。国有林は水源涵養保安林、落石防止保安林に指定され、森林の有する国土保全等公益的機能の発揮や自然景観を有するため公衆の保健等に関する要望等が高い。</p> <p>当計画箇所は、平成 25 年 9 月の集中豪雨により溪流荒廃及び山腹崩壊が発生し、下流にある人家等に土砂が流出した箇所であり、現在も溪床に不安定土砂等が堆積。今後の豪雨等により下流保全対象等への被害を与える恐れがあるため、早急に施工する必要がある。</p> <p>このことから、溪間工の実施により不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全及び水土保全機能の維持、向上を図ることとする。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容</li> <li>・ 主な保全対象 (治山事業)</li> <li>・ 総事業費</li> </ul>	<p style="text-align: right;">溪間工 2基</p> <p style="text-align: right;">工場、会社、国道、林道</p> <p style="text-align: right;">29,000 (千円)</p>	
費用対効果分析	総 便 益 (B)	133,713 (千円)	
	総 費 用 (C)	27,783 (千円)	
	分析結果 (B/C)	4.81	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：溪床に不安定土石が堆積し、豪雨時には溪岸浸食が認められる。今後の集中豪雨により土石が流出すれば下流の保全対象に被害を与える恐れがあるため必要である。</li> <li>・ 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：事業の実施により、山脚が固定され、溪流の安定が図られ下流域の保全及び水土保全機能が向上されることから有効性が認められる。</li> </ul>		



様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：国有林直轄治山事業  
施行箇所：堂ヶ谷

都道府県名：岡山  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,692	
	流域貯水便益	466	
災害防止便益	山地災害防止便益	130,555	
総 便 益 (B)		133,713	
総 費 用 (C)		27,783	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{133,713}{27,783}$		= 4.81

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	みずなしやま 水無山 岡山県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は、高梁川流域の神代川上流で岡山県新見市西方に位置する水無山国有林に位置する。          当地区は、植栽した人工林が成長し過密となり、下層植生が貧弱であり、一部では表土が流出し、転石が堆積している箇所があるなど、水土保持機能の著しい低下が見られる箇所であり、今後の台風や集中豪雨により崩壊等の発生すれば県道、鉄道への影響も懸念される状況である。          このことから、本数調整伐及び丸太筋工を施工することにより、下層植生の育成を促進し、森林の持つ水源かん養、山地災害抑止機能などの増進を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容                本数調整伐 4.95ha      丸太筋工 180m</li> <li>・ 主な保全対象（治山事業）                県道、鉄道</li> <li>・ 総事業費                2,100（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	9,745（千円）	
	総 費 用 (C)	2,435（千円）	
	分析結果 (B/C)	4.00	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：降雨等による表面侵食が進み、風倒等により林地崩壊が発生し下流保全対象に被害を及ぼす恐れがある。下流域の保全及び水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：事業実施により、林床植生の回復が図られ、水土保持機能が維持向上されることから有効性が認められる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：保安林整備  
施行箇所：水無山

都道府県名：岡山  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	2,964	
	水質浄化便益	6,781	
総 便 益 (B)		9,745	
総 費 用 (C)		2,435	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{9,745}{2,435} = 4.00$		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成29年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ゆびたにやまじょうりゅう 指谷山上流 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>計画箇所は庄原市高野町の神野瀬川上流に位置する指谷山国有林であり、指谷集落上流に位置する箇所である。          現状、42年生～54年生の人工林であり、林冠の閉鎖が認められ、このまま放置すれば下層植生の衰退、表土の流出が懸念される状況で、下流の人家、県道等へ影響を与えることも懸念される。          このため、本数調整伐及び丸太筋工を実施し保安林機能の維持増進を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：本数調整伐、丸太筋工</li> <li>・主な保全対象：人家、県道、市道、農地</li> <li>・総事業費 14,000（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	95,760（千円）	
	総 費 用（C）	13,877（千円）	
	分析結果（B／C）	6.90	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：このまま放置すれば、今後の豪雨により荒廃が進行し、土砂の流出を引き起こすおそれが高く、早急な対策が必要である。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から、効率性が認められる。</li> <li>・有効性：事業の実施により、保安林機能の維持増進が図られ、水土保持機能の発揮が見込まれる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林整備  
 施行箇所：指谷山上流

都道府県名：広島  
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	流域貯水便益	28,377	
	水質浄化便益	67,383	
総 便 益 (B)		95,760	
総 費 用 (C)		13,877	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{95,760}{13,877} = 6.90$		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成29年度～平成34年度(6年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	きたまた 北股 (奈良県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区の所在する北股国有林は奈良県吉野郡川上村に位置している。台風災害により、崩壊地が多数発生し、溪床には大量の不安定土砂が堆積しており、下流への濁水・土砂流入があり、早急に事業を実施する必要がある。このため、崩壊地の拡大防止と溪床に堆積している土砂の流出を防止するとともに荒廃地・荒廃移行地等の復旧整備を実施し、下流にある林道の保全を図ることを目的に当事業に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：溪間工 3基 920.0m<sup>3</sup>、山腹工 4箇所 0.26ha</li> <li>・主な保全対象（治山事業）：林道</li> <li>・総事業費：127,000（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	198,318（千円）	
	総 費 用（C）	110,177（千円）	
	分析結果（B/C）	1.80	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の荒廃状況、山腹崩壊斜面や溪床に大量の不安定土砂が堆積し、放置すれば、今後の集中豪雨等により下流への土砂流出が懸念され、下流域の保全対象に大きな被害を及ぼすおそれがあることから、当事業の実施による水源かん養機能の発揮による必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 当事業の実施により、森林の整備、溪流・山腹の安定が図られ保安林の多面的機能の発揮が見込まれることから下流域の保全が図られ、荒廃森林の整備及び荒廃溪流・山腹崩壊斜面の復旧整備の対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で計画しており、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、森林の整備、不安定土砂、山腹崩壊斜面が安定し、保安林機能の回復することにより、下流域の保全が図られること及び費用対効果分析の結果から、事業の有効性が認められる。</li> </ul>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：復旧治山事業  
施行箇所：北股

都道府県名：奈良  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	8,205	
	流域貯水便益	3,525	
	水質浄化便益	7,665	
山地保全便益	土砂流出防止便益	178,887	
	土砂崩壊防止便益	36	
総 便 益 (B)		198,318	
総 費 用 (C)		110,177	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{198,318}{110,177} = 1.80$		